



スクリプトライブラリのドキュメント

Virtual Desktop Service

NetApp
June 09, 2022

目次

スクリプトライブラリのドキュメント	1
スクリプト化されたイベントドキュメント - Adobe Reader DC	1
スクリプト化されたイベントドキュメント - AMD Radeon Instinct ドライバ	2
スクリプト化されたイベントドキュメント - Ezeep Print App	4
スクリプト化されたイベントドキュメント - Google Chrome	6
スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Edge Chromium	7
スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Office 365	9
スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft OneDrive	11
スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Teams	12
スクリプト化されたイベントドキュメント - AVD の Microsoft チーム	14
スクリプト化されたイベントドキュメント - Nvidia Cuda ドライバ	15
スクリプト化されたイベントドキュメント - Nvidia グリッドドライバ	17
スクリプト化されたイベントドキュメント - AVD スクリーンキャプチャ保護	18
スクリプト化されたイベントドキュメント - Zoom VDI AVD	20

スクリプトライブラリのドキュメント

スクリプト化されたイベントドキュメント - Adobe Reader DC

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Adobe Reader DC の概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、*Adobe Reader DC* をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは、以下のように入力されます。ショートカットは、「\\shortcuts\Acrobat Reader DC.lnk」です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallAdobeReader] | [scriptlibrary.activity.InstallAdobeReader.png](#)

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには 'そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の `_Workspace > Applications_page` から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用で

きます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており ' 調査できます " [こちらをご覧ください](#) "。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "セクション。" RDS 記事のアプリエンタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
 - * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
 - * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - AMD Radeon Instinct ドライバ

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を

使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | *scriptlibrary.overview-2ccb2.png*

AMD Radeon Instinct ドライバの概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、*AMD Radeon Instinct Drivers* をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallAMDRadeonInstinctDrivers] |

手動アクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには 'そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティは 'VDS 管理者が手動でスクリプトをトリガしたときに実行されます

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など 'その他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこれは 'Manual_event タイプの代わりに使用できますCreate Server を使用すると 'VDS で新しく作成したすべての VM に対してこのスクリプトが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます "[こちらをご覧ください](#)".

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「手動」を選択します
 - * ターゲット・タイプ：「サーバ」ラジオ・ボタンを選択します
 - * 管理対象サーバ：このアンインストールを受け取る VM ごとにチェックボックスをオンにします

スクリプト化されたイベントドキュメント - Ezeep Print App

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Ezeep Print App の概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、*Ezeep Print App* をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは以下のようになります。ショートカットは「\\shortcuts\Printer Self Service.Ink`」です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallEzeepPrintApp] | [scriptlibrary.activity.InstallEzeepPrintApp.png](#)

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには ' そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の `_Workspace > Applications_page` から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており ' 調査できます "[こちらをご覧ください](#)"。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)。" RDS 記事のアプリエントタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトで

す。

- * 引数：* は空白のままにします
- * 有効チェックボックス：* チェックボックス
- * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
- * アプリケーション：* ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
- * ショートカットパス：* このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Google Chrome

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | *scriptlibrary.overview-2ccb2.png*

Google Chrome の概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、_Google Chrome_ をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは、以下のように入力されます。ショートカットは、「\\shortcuts\Google Chrome.lnk`」です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallGoogleChrome] | *scriptlibrary.activity.InstallGoogleChrome.png*

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには 'そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の `_Workspace > Applications_page` から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます "[こちらをご覧ください](#)".



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)". " RDS 記事のアプリエントタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [`_Activities_Click` (`_ アクティビティ _` を追加)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
 - * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
 - * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Edge Chromium

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方

のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは '[スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Microsoft Edge Chromium の概要

このスクリプトパッケージでは、chocolatey パッケージマネージャを使用して Microsoft Edge Chromium_ をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

デフォルトのショートカットパス

デフォルトのショートカットパスは以下のように入力されます。このアプリケーションのショートカットは、「\\shortcuts\Microsoft Edge.lnk」です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftEdgeChromium] | [scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftEdgeChromium.png](#)

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには 'そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の _Workspace > Applications_page から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます"[こちらをご覧ください](#)"。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)。" RDS 記事のアプリエントタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします

3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。

- * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
- * 概要： * オプションで概要を入力します
- * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
- * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
- * 引数： * は空白のままにします
- * 有効チェックボックス : * チェックボックス
- * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
- * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
- * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Office 365

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Microsoft Office 365 の概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して Microsoft Office _ をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。



この Microsoft Office 365 インストールスクリプトには、Microsoft チームや Microsoft One Drive は含まれていません。これらはスタンドアロンの自動スクリプトとして含まれており、一部の環境ではこれらのアプリケーションが不要なため、柔軟性が向上します。この配置は、コピーおよび編集して含めることができます（または、他の配置を変更することもできます）["Office 展開ツール" 設定](#)） VDS からスクリプトをクローニングし、InstallMicrosoftOffice365.ps1 を編集して、XML 設定ファイルに異なる値を入力する。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは、以下のように入力されます。ショートカットは「\\folders\Microsoft Office」です

【アクティビティの追加】ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftOffice365] | [scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftOffice365.png](#)

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには、そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の `_Workspace > Applications_page` から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます "[こちらをご覧ください](#)"。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)。" RDS 記事のアプリエンタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します

- * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
- * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft OneDrive

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | *scriptlibrary.overview-2ccb2.png*

Microsoft OneDrive の概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して Microsoft OneDrive をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは、以下のように入力されます。ショートカットは、「\\shortcuts\OneDrive .lnk`」です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftOneDrive] | *scriptlibrary.activity.InstallMicrosoftOneDrive.png*

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには ' そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（ VDS の _Workspace > Applications_page から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます "[こちらをご覧ください](#)".



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)." RDS 記事のアプリエントタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
 - * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
 - * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Microsoft Teams

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を

使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Microsoft チームの概要

このスクリプトパッケージでは、chocolatey パッケージマネージャを使用して Microsoft Teams_ をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。



この Microsoft チームインストールは、RDS 環境への導入用に特別に構成されています。"別の Microsoft Teams スクリプト" AVD 展開用に提供されています。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは ' 以下のとおりですショートカットは '\\shortcut\Microsoft Teams\lnk' です

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには ' そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（ VDS の _Workspace > Applications_page から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など ' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており ' 調査できます "[こちらをご覧ください](#)"。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)。" RDS 記事のアプリエントタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。

- * 引数：* は空白のままにします
- * 有効チェックボックス：* チェックボックス
- * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
- * アプリケーション：* ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
- * ショートカットパス：* このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - AVD の Microsoft チーム

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

Microsoft Teams for AVD の概要

このスクリプトパッケージでは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、Microsoft チーム AVD_Ad をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。



この Microsoft チームは、AVD 環境への導入用に特別に構成されており、Azure の AVD に固有のカスタマイズとコンポーネントが含まれています。"別の Microsoft Teams スクリプト" RDS 展開用に用意されています。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは以下のとおりですショートカットは '\\shortcut\Microsoft Teams AVD.lnk' です

【アクティビティの追加】ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.script.InstallMicrosoftTeamsAVD] | *scriptlibrary.script.InstallMicrosoftTeamsAVD.png*

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには、そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要があります。この例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の `_Workspace > Applications_page` から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されています。このトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます。_サーバの作成_ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます。_サーバの作成_ およびその他のトリガが文書化されており、調査できます。"こちらをご覧ください"。



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要があります。これ "セクション" RDS 記事のアプリケーションタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
 - * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
 - * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

スクリプト化されたイベントドキュメント - Nvidia Cuda ドライバ

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは

VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

NVIDIA Cuda ドライバの概要

このスクリプトパッケージは、chocolatey パッケージマネージャを使用して、Nvidia Cuda Drivers_ をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallNvidiaCudaDrivers] | [scriptlibrary.activity.InstallNvidiaCudaDrivers.png](#)

手動アクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには ' そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティは 'VDS 管理者が手動でスクリプトをトリガしたときに実行されます

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など ' その他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこれは 'Manual_event タイプの代わりに使用できますCreate Server を使用すると 'VDS で新しく作成したすべての VM に対してこのスクリプトが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており ' 調査できます "[こちらをご覧ください](#)".

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトで

す。

- * 引数: * は空白のままにします
- * 有効チェックボックス: * チェックボックス
- * イベントの種類: ドロップダウンから「手動」を選択します
- * ターゲット・タイプ: 「サーバ」ラジオ・ボタンを選択します
- * 管理対象サーバ: このアンインストールを受け取る VM ごとにチェックボックスをオンにします

スクリプト化されたイベントドキュメント - Nvidia グリッドドライバ

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムのスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

NVIDIA GRID ドライバの概要

このスクリプトパッケージでは、chocolatey パッケージマネージャを使用して *Nvidia Grid Drivers* をインストール / アンインストールします (<https://chocolatey.org/>) をクリックして、を展開します。chocolatey は VM の作成時に VDS によって導入されますが、このスクリプトでは chocolatey が存在しない場合はその前提条件として確認およびインストールされます。

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallNvidiaGridDrivers] | [scriptlibrary.activity.InstallNvidiaGridDrivers.png](#)

手動アクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには ' そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティは 'VDS 管理者が手動でスクリプトをトリガしたときに実行されます

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' その他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこれは 'Manual_event' タイプの代わりに使用できます Create Server を使用すると 'VDS で新しく作成したすべての VM に対してこのスクリプトが実行されます' サーバの作成 およびその他のトリガが文書化されており 調査できます ["こちらをご覧ください"](#)。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「手動」を選択します
 - * ターゲット・タイプ：「サーバ」ラジオ・ボタンを選択します
 - * 管理対象サーバ：このアンインストールを受け取る VM ごとにチェックボックスをオンにします

スクリプト化されたイベントドキュメント - **AVD** スクリーンキャプチャ保護

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

AVD 画面キャプチャ保護の概要

このスクリプトパッケージは、PowerShell で（関連する）コマンドを実行することにより、ネイティブの AVD feature_screen capture protection_ を有効または無効にします。

— 有効にします

「HKLM\SOFTWARE\Policies\Microsoft\Windows NT\Terminal Services」 /v fEnableScreenCaptureProtection/t REG_DRE/d 1 を追加します

- 無効にします

「HKLM\SOFTWARE\Policies\Microsoft\Windows NT\Terminal Services」 /v fEnableScreenCaptureProtection/f を削除します

この AVD 機能に関する Microsoft のマニュアルは、次の URL から入手できます。<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-desktop/security-guide#session-host-security-best-practices>

【アクティビティの追加】ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.AVDScreenCaptureProtection 216a6] | *scriptlibrary.AVDScreenCaptureProtection-216a6.png*

手動アクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには、そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要があります。この例のアクティビティは、VDS 管理者が手動でスクリプトをトリガしたときに実行されます。

VDS スクリプト化されたイベントには、'Create Server など'、その他の多くのタイプのアクティビティトリガが用意されています。これは、'Manual_event' タイプの代わりに使用できます。Create Server を使用すると、VDS で新しく作成したすべての VM に対してこのスクリプトが実行されます。サーバの作成、およびその他のトリガが文書化されており、調査できます。[こちらをご覧ください](#)。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [_Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「手動」を選択します

- * ターゲット・タイプ：「サーバ」ラジオ・ボタンを選択します
- * 管理対象サーバ：このアンインストールを受け取る VM ごとにチェックボックスをオンにします

スクリプト化されたイベントドキュメント - Zoom VDI AVD

グローバルスクリプトの概要

NetApp VDS には、定義済みのスクリプト化イベントのライブラリが含まれています。これらのイベントは VDS 環境で直接使用したり、重複してカスタムスクリプト化イベントのビルディングブロックとして使用したりできます。

このアプリケーションの場合、この記事では、インストール / 有効化およびアンインストール / 無効化の両方のアクションについて説明します。

グローバルスクリプトの使用

このような組み込みのスクリプト化されたイベントは事前に入力されており、「グローバル」フィルタチェックボックスをオンにすると表示されます。

このようなグローバルスクリプトイベントは読み取り専用ですそのまま使用することも、「クローン」機能を使用して編集や使用のためにお客様のコピーを作成することもできます。

[クローン] ボタンは [スクリプトイベント] ページのアクションメニューにあります

[scriptlibrary.overview 2ccb2] | [scriptlibrary.overview-2ccb2.png](#)

VDI/AVD の概要を拡大します

このスクリプトパッケージは、PowerShell を使用して導入を実行するために、_Zoom VDI-AVD_A をインストールまたはアンインストールします。



VDI/AVD 環境でオーディオリダイレクトも有効になっていると、ズームパフォーマンスが向上します。

デフォルトのショートカットパス

このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスは以下のとおりですショートカットは '\\shortcuts\Zoom VDI.lnk' です

[アクティビティの追加] ダイアログウィンドウのスクリーンショット

[scriptlibrary.activity.InstallZoomVDI AVD] | [scriptlibrary.activity.InstallZoomVDI-AVD.png](#)

アプリケーションのインストール / アンインストールアクティビティを追加します

リポジトリ内のスクリプトが何らかのアクションを実行するには 'そのスクリプトを選択したトリガに関連付けるアクティビティを作成する必要がありますこの例のアクティビティでは、アプリケーションがワークスペースに追加された場合、またはワークスペースから削除された場合（VDS の _Workspace > Applications_page から）、このアプリケーションをインストール / アンインストールします。

VDS スクリプト化されたイベントには 'Create Server など' 他多くのタイプのアクティビティトリガが用意されていますこのトリガは 'Application Install(または Application Uninstall) イベントタイプの代わりに使用できます_ サーバの作成 _ を使用すると 'VDS で新たに作成したすべての VM に対してこのアプリケーションのインストールが実行されます_ サーバの作成 _ およびその他のトリガが文書化されており '調査できます "[こちらをご覧ください](#)".



このアプリケーションは 'VDS アプリケーションライブラリに存在する必要がありますこれ "[セクション](#)." RDS 記事のアプリエンタイトルメントでは、ライブラリにアプリを追加する方法について説明しています。

アクティビティを作成し、このスクリプトをアクションにリンクするには：

1. VDS のスクリプトイベントセクションに移動します
2. [Activities_Click (_ アクティビティ _ を追加 _)] をクリックします
3. 開いたダイアログウィンドウで、次の情報を入力します。
 - * 名前： * このアクティビティに名前を付けます
 - * 概要： * オプションで概要を入力します
 - * 展開 * ドロップダウンから希望の展開を選択します
 - * スクリプト： * ドロップダウンからインストール（またはアンインストール）スクリプトを選択します。これは、クローンを作成してカスタマイズしたグローバルスクリプトまたは顧客スクリプトです。
 - * 引数： * は空白のままにします
 - * 有効チェックボックス : * チェックボックス
 - * イベントの種類：ドロップダウンから「Application Install」（アプリケーションのインストール）または「Application Uninstall」（アプリケーションのアンインストール）を選択します
 - * アプリケーション： * ドロップダウンからこのアプリケーションを選択します
 - * ショートカットパス： * このアプリケーションのデフォルトのショートカットパスを入力します（上記を参照）。

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。